

PROGRAM NOTE

1991

近藤譲：八つの範疇

3人の打楽器奏者のための

Eight Categories

for 3 percussionists

この作品は、1991年の「東京の夏」音楽祭での中国の伝統音楽に関するレクチャー・コンサートのために、同音楽祭からの委嘱で作曲された。曲題の「八つの範疇」は、中国の伝統的な楽器分類法である「八音」——楽器の素材別に、金属、石、土、皮、糸、木、瓢箪、竹の8種類に分類する——に由来している。委嘱者は、おそらく、中国の伝統音楽を中心としたこのレクチャー・コンサートの中に、伝統的な音楽概念を現代のコンテクストの内に置き換えた(つまり、伝統概念を現代化した)作品を含めることを意図したのだろう。その委嘱に応じて書かれたこの作品での使用楽器は、ほぼこの8種類の楽器を網羅している。とはいえ、それ以外の点では、この作品は、中国の伝統音楽は何の関わりもない。

《八つの範疇》は、吉原すみれ、山口恭範、菅原淳によって、上記の音楽祭で初演された。

近藤譲

初演：1991年7月「東京の夏」音楽祭（東京）

初演者：吉原すみれ 山口恭範 菅原淳

委嘱：「東京の夏」音楽祭

出版：University of York Music Press (UK)

演奏時間：10分